



「表裏のない正直な提案を心がけています。」  
 そう語るのは、長島木材の長島修さん。  
 家を建てる時に、エアコン、カーテン、家具等も含めての予算はいくらなのか。大手は、その辺をオプションにして安く見せている。  
 追加オプションばかりの費用で家を建てるのと、我慢の連続が生れる。最後には、家を建てなかったほうが良かったんじゃないかという「がまんの家」になる。  
 「それだけはさせたくない。」

# 最後の砦になる。

有限会社長島木材 長島 修

No.81

い。だからこそ、正直な提案が大事なんです。」  
 昔は家の主が、「畳はあの店」「水周りはこの店」と、地元の専門職に頼んでいた。それが『ものい』から大工に全部任せ始め、遂には家を建てるのが商売になった。ここに地域コミュニティの大切な問題が見え隠れする。  
 長島木材の特徴は、北陸最大の長い木を加工できること。  
 木は生き物。湿度によって、伸びたり縮んだり、同じ種類の木でも縮む率が違う。ということ

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



「ただ、自分で家を立てることができ、ほんまもんの大工が減ってきたとて残念。」  
 それは、墨つけ・刻みができない大工が増えてきたということ。「楽だから」「コストが安い」「工期が短くなる」そんな理由で、機械で加工した材木



は、繋げば繋ぐほど縮む違いが生じる。  
 「材木一本でノージョイントで建てる方が強度が強い。それができるのが長島木材の強みです。」  
 今は、機械を利用した効率的な材木の加工だからこそ、強度を補うために金物が必要になってきた。でも一番強いのは、昔の工法。木と木をつなぐのに釘を使わなかった。



を利用するようになり、大工の一番大事な技術を捨ててきている。大工がいなくても家が建つ仕組みが出来上がった。  
 「本物の大工を残さないといけない。そのために最後の砦になるつもりです。」  
 「大工が大工であるべき仕事がない。お客様には金額じゃなく、手刻みでさせて下さい」と頼むこともある。技術のある大工を守るために…。  
 昔は、縄張りがあり、大工が営業をしなくても仕事が入ってきた。これも本来は大切な地域コミュニティを保つ仕組みだった。  
 また、長島木材の取組みとして、家を建てる時に携わった職人達全員に集まってもらい完成見学会を開催している。  
 家を建てるまでに携わった職人が、最後の完成した状態をあまり見えない。自分らの仕事はどう活かされているのか、元受の思いは何なのか、それが伝わりにくい状態になっている。



製材・建築施工管理・リフォーム・住設機器・銘木  
**ウッディナガシマ(有)長島木材**  
 〒932-0806 富山県小矢部市水落20  
 TEL: 0766-67-1822  
 FAX: 0766-67-2073  
<http://www.nagashima-mokuzai.com>

見学会を開くことで、お互いに刺激しあい、次の現場をより良くするためにスキルアップしていくことが出来る。  
 「図面に関しては、お客様のお金で自分の家を建てさせてもらっているという気持ちで描いています。」  
 大切なのは、見た目のデザインより機能を伴った使い手の為のデザイン。「どっつい」導線が使いやすいかは勿論のこと、視線や雰囲気、存在感も気にしています。「あ、今帰ってきたな」って自然に伝わるような間取り。「いい間取りを作るためには、お客様との『だら話』が大切なんですよ。」  
 最後まで、笑顔を絶やさない取材だった。

プレゼント



木の本来の質感や香り、自然な座り心地。

丸太の椅子 5名様

募集期間：平成23年12月26日(月)まで  
 PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/OYABE>  
 SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
 Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>

本当に大切にしないといけない価値ってなんだろうな…。



店長の一言